

令和8年度開校 長野県小諸義塾高等学校(仮称)

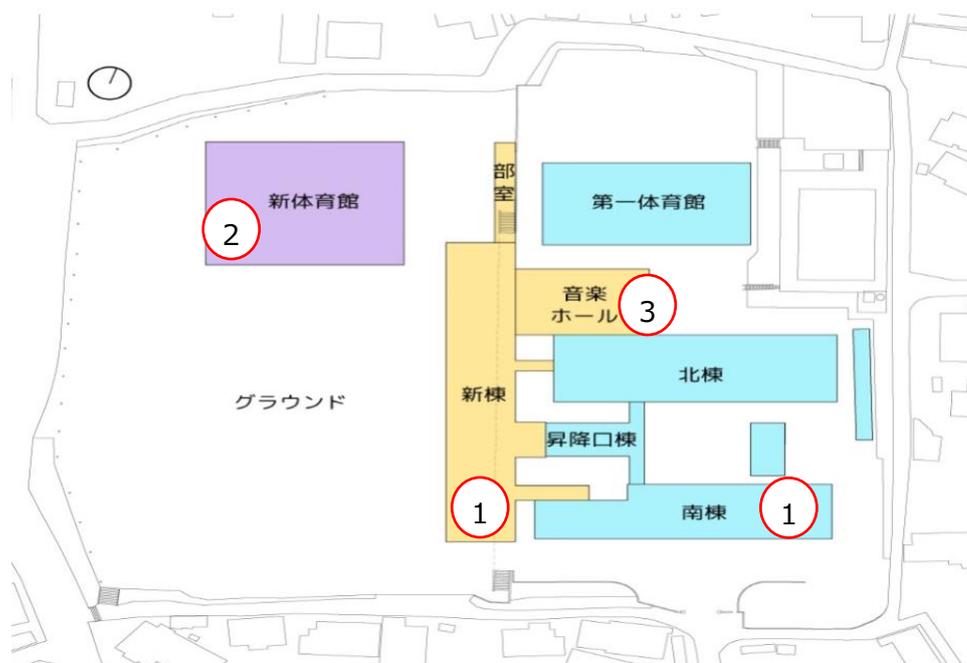
1 新校名は「長野県小諸義塾高等学校(仮称)」

- ・公募により多数の応募をいただいた中から、「懇話会」において、地域の強い願いが込められた校名に決定いたしました。
- ・「懇話会」は学校関係者に加え、地域の代表、同窓会、PTA、生徒の代表者等により構成され、新たな学校づくりのために意見交換を行う場として開催されているもので、現在までに16回にわたり行われています。
- ・この校名は本年5月に県教育委員会で決定されましたが、高等学校設置条例の改正をもって正式決定となります。同条例の改正は、開校前年の令和7年度に県議会で提案される予定です。

2 活用する校地・校舎は現小諸商業高等学校

- ・NSD(長野県スクールデザイン)プロジェクトにより、通学の利便性、小諸市の「多極ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくり構想と連動した基本計画となっています。
- ・基本計画を策定するために、学校関係者や地域住民を対象とするワークショップなどを開催し、多くの人々と意見交換を行いました。
- ・FLA(フレキシブル ラーニング エリア)を設けることにより普通科・商業科・音楽科の生徒が自然に交流することができる、3科が融合しやすい環境となっています。
- ・地域連携協働室の創設により、地域と連携した学びがしやすいようになっています。
- ・音楽棟や音楽ホール、大体育館を新設する他、現在の校舎を改修する計画です。今までにない、新しいコンセプトの校舎となる予定です。(令和7年度末に完成予定)

〔配置計画〕



- ①教室配置 普通教室は3教室ずつグルーピングして、新棟2階および南棟2~4階に配置
- ②大体育館 大体育館を新設
- ③音楽ホール 楽器運搬と地域開放の観点から、北棟北側の1階レベルにホールを配置

3 設置課程・学科および開校時に想定する募集学級数

全日制課程 普通科3学級、商業科3学級、音楽科1学級

定時制課程 商業科1学級

※学科の名称等は、開校前年度に決定します

4 新校開校前後の日程

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
小諸			閉校			
小諸商業			閉校			
小諸義塾 (新校)				開校(創立) 1年目	創立 2年目	創立 3年目
R5(2023) 入試	1年生 R5.4月入学	2年生	3年生			
R6(2024) 入試		1年生 R6.4月入学	2年生	3年生 新校1期生卒業		
R7(2025) 入試			1年生 R7.4月入学	2年生	3年生 新校2期生卒業	
R8(2026) 入試				1年生 R8.4月入学	2年生	3年生 新校3期生卒業

5 小諸義塾高校での新たな学び ～融合する3科の学び～

【基本理念】

実践的な学びを通して本物に触れ、年齢や立場を越えた様々な人たちや多様な進路を志すもの同士が協働して学ぶことで、新たな社会や価値観を創造する人を育む。

【教育方針】

- (1)地域をフィールドとした協働的・探究的な学びを通して、地域の発展に貢献できる「課題発見力」や「探究力」を育む。
- (2)グローバルな視野で、コミュニケーション力や多様な観点から批判的に考察する力を育む。
- (3)主体的な学びを通して、自らの可能性と未来を切り拓く力や、より大きな夢に挑戦する力を育む。

「地域を舞台に多様性を重視しグローバルな視点で未来を創造する3科融合校」を目指します。

※グローバル(英:Glocal)とは、グローバル(Global)と、ローカル(Local)を組み合わせた造語です。

具体的には、地球規模で視野を持ちながら、地域の視点で問題を捉え、解決していかこうとする考え方のことを指します。

学科それぞれの特性を活かした3科協働の新しい学び

自己実現に向け多様な進路希望に応える普通科の学び

地元企業と連携するなど実社会に応じた商業科の学び

専任講師によるレッスンや充実した設備で学ぶ音楽科の学び

～未来を創造する探究プログラム～

探究プログラムは生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見を交換・協働したりしながら進めていく学習活動です。

各学年で基礎・応用・実践と発展的な学習を行う予定です。

学科・教科横断型学習	3年次 〔実践〕	<ul style="list-style-type: none">・地域の人々と学び、地域との共創を実現する。・1、2年次で学んだことを活かした実践的な探究学習・一人一人の興味関心にあった探究学習への取り組み。	地域連携・本物を学ぶ
	2年次 〔応用〕	<ul style="list-style-type: none">・地域の課題を発見し、地域とのかかわりについて考える。・仮説を立て、調べ、まとめて発表する力を育てる。・自分の将来について考える。進路学習への取り組み。	
	1年次 〔基礎〕	<ul style="list-style-type: none">・何をどのように学ぶのか 戦略的学習力を育てる。・思考を止めず、答えを導き出す力を育てる。・自己肯定感の涵養 他者理解 コミュニケーション能力の向上	

『学科・教科横断型学習』

普通科・商業科・音楽科の枠を越えて他の科の学習もできるような教育課程を考えています。

また、複数の教科が連動した学習についても、取り組みを進めています。

- ・全教科が共通のテーマで授業を行う
⇒ 共通のテーマで授業が行われることによって、教科によって「モノの見方・考え方」が違ってくるのがわかります。
- ・複数教科の教員が一つの授業を担当する。
⇒ 同じ授業を複数教科の先生方が担当します。商業科と理科と音楽科の先生がチームを組んで、授業を担当するということがあります。
- ・3科の生徒が一緒に同じテーマについて考えて発表する。
⇒ 普通科・商業科・音楽科の生徒が同じテーマについてそれぞれの立場から考え、まとめて発表する授業です。

『地域連携』

小諸市を中心とした地域と連携して学習に取り組めるような仕組みを考えています。

小諸市内唯一の高校として、地域の発展に貢献できるような人、地域の未来の創り手となるような人を育てていきます。

- ・まちたね広場を使った高校生主催のイベント開催
- ・小諸市の課題に対する方策や理想の実現方法を高校生が企画・提案する探究学習
「小諸ウェルビーイング」

『本物を学ぶ』

高校時代に、実社会から多くのことを学び、多様な観点やグローバルな視点を持てるような人を育てていきます。

- ・地域の職業人をお招きしての講演会
[例] IT 企業経営者・アナウンサー・ファイナンシャルプランナー等
- ・デュアル実習による職業観の育成

○個別最適な学び（一人ひとりに合った学び）

小諸義塾高校では、個別最適な学び（一人ひとりに合った学び）の実現に向けたしくみの導入を検討しています。

具体的には、他学科の科目も含め、興味・関心に合わせた科目、進路希望に合わせた科目等を柔軟に選択できるようしくみを検討しています。

高校で履修^{※1}する授業（科目）は、「必履修科目」、「学校必履修科目」、「選択科目」に分けることができます。「必履修科目」は、学習指導要領で定められた必ず履修しなければならない科目です。「学校必履修科目」は、学校が定めた必ず履修しなければならない科目です。「選択科目」は、生徒が自由に選択し、履修することができる科目です。

最終的には、必ず履修しなければならない科目を含め、74単位以上の単位を修得^{※2}すると卒業が認定されます^{※3}。ただし、商業科・音楽科は、専門教育を主とする学科なので、25単位以上、専門科目を修得しなければなりません。

なお、「単位」とは、学習した量を指す言葉です。例えば1年間、週2時間の授業を履修して、学習の成果を認められた場合には「2単位を修得した」といいます。

- ※1 定められた時間数、授業を受けることを「履修」といいます。
- ※2 履修した授業について、一定の学習成果が認められ、単位を取ることを「修得」といいます。
- ※3 学校が定める卒業に必要な修得単位数は、今後、変更になる可能性があります。

○2学期制

現在小諸高校・小諸商業高校は3学期制ですが、令和8年度から2学期制となります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学期				2学期				3学期			
前期						後期					

※2学期制の場合、9月末に前期終業式、10月初めに後期始業式となります。

- ・半期での単位修得が可能となり、自分の興味・関心に合わせた教育課程の編成が可能となります。
- ・単位数の少ない科目については半期で4単位集中して学習することにより、学習効果が大きくなることが期待できます。

○2学期制の場合の授業展開例 【商業科2年+普通科2年文系】※数学基礎は学校設定科目とする

	前期	後期
A	数学Ⅱ 4単位	
B	数学基礎 2単位	マーケティング 2単位

- ・AかBのどちらかを選択する。
- ・数学Ⅱを選択した場合は通年で数学Ⅱの学習を行う。
- ・数学基礎+マーケティングを選択した場合は、前期は数学基礎、後期はマーケティングの学習を行う。

◆ 45分授業の展開

小諸義塾高校では1時間の授業時間を45分に設定し、1日7時間授業を週に3日入れることにより、従来よりも授業時間を確保し、新たな学習スタイルの確立を目指します。

		月	火	水	木	金	
SHR	8:45 ~ 8:55						
1限	9:00 ~ 9:45						
2限	9:55 ~ 10:40						
3限	10:50 ~ 11:35						
4限	11:45 ~ 12:30						
昼	12:30 ~ 13:10						
5限	13:10 ~ 13:55						
6限	14:05 ~ 14:50				LHR		
7限	15:00 ~ 15:45	●	A	職員会	B		
清掃	15:45 ~ 16:00	●月曜日7時間目は固定で入れる					

※日課については例です。今後、変更になる可能性があります。

- ・ A、Bには各曜日の固定されたコマがローテーションで入ります。

【例】4月第2週…月曜日1時限⇒A 月曜日2時限⇒B

4月第3週…月曜日3時限⇒A 月曜日4時限⇒B

(中略)

5月第3週…火曜日2時限⇒A 火曜日3時限⇒B

- ・ A、Bは授業だけではなく、学年行事や講演会などを実施することもあります。
- ・ 水曜日、金曜日は6時限終了後に清掃の時間が入り、放課となりますので、クラブ活動や生徒会活動、地域と連携した学習などに有効活用することができます。

6 制服

現在、小諸高校は私服、小諸商業高校は制服を着用しています。これまでに、生徒・保護者や職員へのアンケートを行い、様々な意見を集めてきました。

それを踏まえて、新校では「制服」ではなく「標準服」を導入し、生徒自身が選んで着用できるようなスタイルにしていく方向で検討を進めています。

具体的にどのような標準服になるのかは、これから決まっていますが、令和7年度入学生から、この標準服を導入したいと考えています。

今後はホームページなどでも情報発信をしていきたいと思っておりますので、そちらもご確認ください。

◆R7 入学生より『標準服』を導入

- ・ブレザー、ネクタイは入学生全員が購入する。
- ・スラックスは希望者が購入する。
- ・スラックス（スカートでも可）、ワイシャツは各自でブレザー、ネクタイに合うものを選んで着用する。色の指定もしない。始業式、終業式、卒業式など行事日には全員がブレザー、ネクタイを着用する。
- ・ブレザー、ネクタイは男女共通のものにする。
- ・ブレザーは日常的に着用してもよい。[例] ブレザー+ポロシャツ+チノパンツ

	R6	R7	R8
小諸	※私服		
		標準服購入	
小諸商業	※小諸商業の制服購入		
		標準服購入	

7 クラブ活動

現在、両校では多くのクラブが活発に活動しており、統合後もさらにクラブ活動が充実できるようにしていきます。

【運動部】

クラブ名	小諸高校	小諸商業高校
野球	○	○
サッカー	○	○
ソフトテニス	○	○
卓球	○	○
バスケットボール 男子	○	○
バスケットボール 女子	○	○
バレーボール 男子	○	○
バレーボール 女子	○	○
バドミントン	○	○
陸上	○	
レスリング	○	○
弓道	○	○
空手	○	

- ・校舎改修・建設の関係で、練習場所が変更になる場合があります。
- ・両校に共通して存在するクラブ(同好会を含む)については、両校でこれまで通りの募集を行い、統合後も活動を行い、統合前から統合チームとして大会等に参加するクラブもあります。運動部は令和6年度から統合チームでの出場が認められます。
- ・現在、小諸商業高校に存在していないクラブについては練習を合同で行うことができますが、令和8年度までは、個人登録という形で大会に参加することになります。



【文化部】

クラブ名	小諸高校	小諸商業高校	備考
演劇	○	○	
調理・家庭科同好会	○	○	
吹奏楽	○	○	
軽音楽	○	○	
文化創作 写真	○		「文化創作部」がそれぞれ 分かれて活動をしている
文化創作 書道	○		
文化創作 美術・漫画研究	○	○(美術)	
音楽(合唱)	○		音楽科生徒はどちらかに所属
管弦楽	○		
ワープロ		○	
情報処理		○	
商業計算		○	
簿記		○	
JRC		○	

- ・商業系のクラブについては両校合同での活動は可能ですが、統合前の普通科生徒の商業系大会への参加はできません。
- ・小諸商業高校での音楽科系クラブ(合唱・管弦楽)の募集は行いません。

◆各クラブの最近の主な成績

クラブ名	小諸高校	小諸商業高校
野球		R4 全国高校野球選手権県大会ベスト4
サッカー		R5 全国高校選手権県大会ベスト16
ソフトテニス	R5 高校総体県大会出場(個人・団体)	R5 高校総体県大会出場(個人・団体)
卓球	R4 高校新人県大会出場(個人)	R4 全国高校選抜大会出場(個人)
バスケットボール 男子	R5 選手権大会県大会出場	
バスケットボール 女子		R5 高校総体県大会出場
バレーボール 男子	R4 選手権大会県大会ベスト16	R5 高校総体県大会出場
バレーボール 女子	R4 高校総体県大会出場	R5 高校総体県大会出場
バドミントン		R5 高校総体県大会出場(個人・団体)
陸上	R4 高校新人北信越大会出場(個人)	
レスリング	R5 高校総体北信越大会出場(個人)	R5 鹿児島国民体育大会3位入賞(個人)
弓道	R5 高校総体県大会出場(個人)	R4 全国高校選抜弓道大会出場(個人・団体)
空手	R5 高校総体北信越大会出場(団体)	



